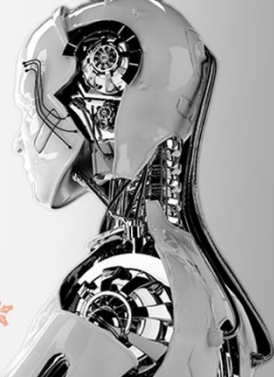


Robotics Report

新たな常識のはじまり

社会の「デジタルツイン」を実現する 5G時代の幕開け

nikko am
fund academy



オリンピックイヤーとなる2020年を目前に控え、日本でも第5世代移動通信システム（5G）の商用化が本格的に始まろうとしています。今後、通信インフラが次世代規格に移行することで、社会やビジネスは具体的にどう変化するのでしょうか。“5G時代”に向けた企業の取り組みについて紹介します。

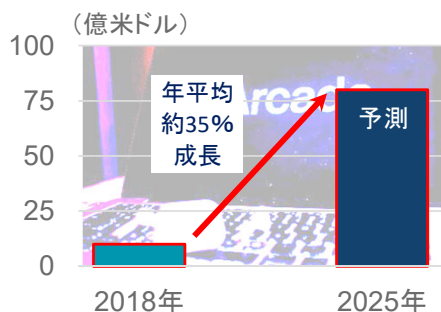
■ 5Gの恩恵を受けるゲーム&動画ビジネス

5Gはロボティクスをはじめ、あらゆる産業分野に大きな変化や影響をもたらすとされています。しかし、5Gの“恩恵”を実際に享受したり、専門分野に特化したサービスが出揃うタイミングは、各産業によってばらつきがある、と多くの専門家は指摘しています。

では、早期に5Gのユースケース（用途）が確立されるのは、どの分野でしょうか。専門家や調査資料などを総合すると、ゲームや動画ビジネスの分野が有望株の筆頭として挙げられます。

エリクソンやファーウェイ、ノキアなどの通信機器メーカーは、両分野が5G時代初期に主要ビジネスになると予測して、2018年以降、関連ソリューションの開発・商談を進めています。2019年

【世界のクラウドゲーム市場予測】



出所: Global Market Insights, Inc.の調査レポート (2019年10月)を基に日興アセットマネジメントが作成
※上記は過去のものおよび予測であり、将来を約束するものではありません。

9月以降には、アップルがApple Arcade、グーグルがStadiaというクラウドゲームサービスを開始しました。日本では、KDDIなどの通信業者が、動画配信サービスと通信料金をセットにしたプランを発表しました。

大手通信機器メーカーの幹部は、「5Gが普及することで、クラウド上で瞬時に複雑なグラフィックやアクションの処理が可能になり、VR（仮想現実）などを使ったゲームが増えていくだろう。また、リッチで高解像度の動画もストレスなく楽しめるような環境も整うだろう。」「5Gは視聴環境・条件を変えられる技術なので、ユーザーの獲得競争は激しくなっていくだろう。」と語っています。

■ デジタルツインで未来を予測する社会へ

PCやスマートフォンなどの機器をデータ収集端末として活用するようになった4G時代とは異なり、5G時代は、あらゆるモノや大量のセンサが常時インターネットに繋がるようになります。その結果、現実社会に存在するヒト、モノ、コトなどをデータ化して、サイバースペース（電脳空間）で同じ世界をもう一つ作ることを指す「デジタルツイン」が実現されると同時に、AI（人工知能）などを使った精密な分析が行なわれ、メリットを最大化してリスクを最小化するような予測を前提とした社会・サービスの現実化が期待されます。

ITの浸透で生活を良い方向に変化させるデジタルトランスフォーメーションの進展に欠かせない5G、その普及は社会の課題を解決し、イノベーションを確実に前進させていくことでしょう。

上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有、非保有、および将来の個別銘柄の組み入れまたは売却を示唆するものでもありません。

(当レポートは、株式会社ロボティアの情報をもとに日興アセットマネジメントが作成しています。)

■当資料は、日興アセットマネジメントがロボティクスに関する情報についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。